



安里 周作 議員



万座毛環境整備の課題洗い出しは

3月定例会の答弁を具体的に伺う。

社会教育課長（長浜 健一）

1点目が、アダンの繁茂の剪定方法について、モニタリングの必要性を指摘されています。2番目に、整備は万座毛に自生する貴重種に影響のない形で指定当時（昭和47年）の状況を目標としたほうがよいという意見。3番目が、保安林の外來種であるモクマオウやギンネムの樹種転換（在來種へ置き換え）についてなどが提言されています。

農業の将来像について

農業政策事業がSDGsに関連して他の事業につながる事はないか。



ベチパー二次活用

農林水産課長（宮平 寛）

福祉との連携は、ベチパーの苗づくりと植付けは、村内の福祉事業所に委託をしています。ベチパーの二次活用は、福祉施設や老人会と連携し商品化に向け、楽しみながら事業を実施しています。観光客に農業体験ができる仕組みづくりも確立し、産地を含めて農家の所得向上に努めたいと考えています。

SDGsと連携した農業振興計画が必要と思うが考えは。

農林水産課長（宮平 寛）

SDGsと連携し農業展開を行うことにより、農産物のブランド化、農家の所得向上及び観光振興にもつながると思います。「恩納村農業振興基本計画」の改定に向けて検討したいと思っています。

村内の交通安全対応について

バイパス開通のメリットは。

総務課長（山城 雅人）

慢性的な渋滞は村民生活に大きな影響がありました。「恩納バイパス」、 「恩納南バイパス」が、暫定開通しており、アクセス向上が図られたと考えています。

午前中の時間帯でトラックが、仲泊の集落内道路を利用している認識はあるか。そこで、交通量が多いという認識はあるか。

総務課長（山城 雅人）

恩納東交差点から南下する大型貨物自動車については、以前と同様の通行が多いと考えています。騒音、振動等の被害は懸念しています。北上する大型車両につきましては、バイパス利用が転嫁されていると思います。南下する車両等が特に多いと認識しています。

国道事務所やトラック協会などに行き先を控えるよう要請を行う必要があると思うが、その考えは。

総務課長（山城 雅人）
仲泊集落につきましても今後沖縄県トラック協会へ大型貨物自動車による国道58号（旧道路）等を通行することを自粛していただき、バイパス利用についての理解と協力の要請書を提出します。

総務課長（山城 雅人）
具体的な方法等の定めはありませんが、恩納村事務決済規定により事務処理を行っています。

各部署の共通の引継ぎ書（共通マニュアル）のようなものが必要かと思うが考えは。

総務課長（山城 雅人）
定期人事異動等、役場の事情により事務の停滞があってはならないと考えています。慣行的に行われているところもありますので、事務の効率化を図る上で、現状の引継ぎ実情を確認しながら、他市町村資料を参考に服務規程等の策定に取り組みます。

人事異動に伴う業務引継ぎについて

業務の引継ぎに統一された決まりはあるか。

総務課長（山城 雅人）

加齢性難聴によりコミュニケーションが減り、会話することで脳に入ってくる情報が少なくなり、脳の機能の低下につながり、認知症につながるのではないかと考えられています。補聴器購入費支援などの考えなどがありますか。

高齢者の中度、軽度難聴者への支援について

高年齢者における加齢性難聴は認知症程度のリスクを高めると指摘されていることを踏まえると、障害者及び高齢者福祉サービスの充実を推進する視点から必要な制度ではないかと考えます。今後は必要としている高齢者の声も聞きながら、財政負担等を精査し、次年度に向けて可能な範囲で福祉サービスの充実を図っていききたいと考えています。

福祉課長（石川 司）

2019年より幼児教育・保育の無償化となっております。入園式の日程で保護者の負担が増えることはおかしいと思います。費用支援や入園式の日程をどのように考えているか。

学校教育課長（仲村 泰弘）

少子化の中、子育て支援を村の重要施策として、入園日の改善に向けて取り組みが必要だと認識しています。

うんな中学校商品開発プロジェクトについて

サンゴに優しい日焼け止め、村内ホテルや観光施設などへ置いていただく要請などは行っているか。

学校教育課長（仲村 泰弘）

村のGM会に要請はしています。

恩納村内で日焼け止めの規制など必要だと思えますか。

村長（長浜 善巳）

サンゴを守るためにも環境にやさしいクリームを使わなければならぬと私たちも考えているところです。うんな中学校の子供たちから、日焼け止めクリームの使用に関する条例設置の提言もありました。関係機関と協議、調整をして、必要であれば整備したいと考えています。



不妊治療費助成について

今年度から保険適用になり村の事業はどうなるか。

健康保険課長（新里 勝弘）

沖縄県の事業の終了に伴い、村の特定不妊治療費助成事業も一旦、終了となります。

不妊治療を受けている方やこれから考えている人への精神的な部分の支援も必要と思いますが。

健康保険課長（新里 勝弘）

仕事の両立等で断念するケースがあると聞いています。各事業所、社会全体が理解できるように広報活動も含めて推進していきたいと考えています。

幼稚園入園式について

なぜ幼稚園の入園式が遅いのか。

学校教育課長（仲村 泰弘）

恩納村立幼稚園管理規則に幼稚園の入園式は4月9日と規定されています。幼稚園・小学校の連携で各小学校の入学式には、幼稚園職員も協力していることから、小学校入学式後に実施されています。

入園式が遅くなり、保護者の負担が増えているが、入園式までの期間、園児を預かる場所と費用はどのようになっているか。

学校教育課長（仲村 泰弘）

今年度の入園式は4月11日でした。村立保育所卒園後の3月末日までは、保護者の事情により保育が必要な園児は無料で、本年4月1日から4月10日までの入園前日までは、保育所での受け入れが実施されており、1日2千円（半日1千円）の料金が必要になると伺っています。今年度は平日が6日間全てを利用した場合1万2千円必要になります。